

消防士  
募集案内

その思い  
夢で終わらせない

弘前地区消防事務組合

# 弘前地区消防事務組合 組織図

職員数：436人

消防本部		
総務課	Administration Section	総務係 / 財政係
人材育成課	Human Resource Development Section	人事研修係 / 給与厚生係
警防課	Fire Suppression Section	警防救助係 / 救急係
予防課	Fire Prevention Section	予防係 / 調査指導係 / 危険物係
通信指令課	Command Section	通信統制係 / 情報管理係 / システム管理係

## 消防署（5署） Fire Station

弘前消防署	藤代分署 / 西分署 / 西北分署 / 目屋分署
東消防署	柘形分署 / 北分署 / 南分署
黒石消防署	田舎館分署 / 山形分署
平川消防署	碓ヶ関分署
板柳消防署	

## 弘前地区消防事務組合管内及び消防本部等配置図



# 弘前地区消防事務組合の主な業務



**タンク小隊**

車に水を積載しているので、火災現場でいち早く消火活動ができます。火災以外にもあらゆる災害に出勤し、住民の生命と大切な財産を守っています。



**ポンプ小隊**

火災現場へタンク車とペアで出勤する車両です。消火栓や川などから吸水し火災現場直近で活動しているタンク車に絶えず水を送水することが主な任務です。



**救急小隊**

急病人やけが人の命を救うため、昼夜を問わず現場に駆け付け、傷病者の症状に応じた応急処置を行いながら医療機関に迅速に搬送します。



**救助小隊**

火災、交通事故、水難事故、N B C災害等、全ての災害に対応します。救助の専門知識と技術そして強靭な身体と精神力を駆使し、人命救助の最前線で戦っています。



**梯子小隊**

4階建て以上の高層建物での災害等に対応します。火災時など、ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動及び警戒活動を行います。地上40メートルまで対応します。



**水槽小隊**

5,000リットルの水を積載しながら機敏性抜群。市街地はもちろん、消火栓がない山火事、また生活用水として震災などでも大活躍する。動く水源として、絶えず水を送水します。



**化学小隊**

薬剤を利用した消火も可能であり住宅火災のほか、水だけでは消えにくい危険物火災など猛火に最接近し立ち向かう小隊です。常に災害現場では最前線で活動します。



**重機小隊**

土砂災害、氾濫、倒壊建物などに先陣を切って突入。県内唯一の先鋭部隊です。大震災や集中豪雨、台風など出動エリアは全国で県外にも出動しています。



**指揮隊**

災害が発生した状況や被害を迅速に把握し、活動方針を決定し出動部隊全体に伝え、全体の活動を指揮します。



**警防指揮隊**

消防本部における日勤者で編成され、以降の消防活動の参考とするための現場監察及び火災調査に通じる指導、助言を行い、指揮本部長の補佐及び現場活動を支援します。



**水難救助隊**

平成10年に発生した水難事故を契機に翌年発足。管内の河川をはじめ、貯水池、ダム湖等あらゆる場所で発生する水難事故に対応するため、潜水士20名を中心に活動しています。



**通信指令課**

消防機関の目であり耳である消防の玄関通信指令課。すべての災害通報を受け付け、総数は年間15,000件以上にのぼります。通話中に出勤指令を行うとともに部隊を出動させるのが任務です。



**予防査察**

火災予防の一つとして、消防は建物に入り管理状況などを見て回り調査の結果、違反が認められる場合には建物の関係者に対して質問をしたり資料を求めたりして違反是正を行います。



**火災調査**

火災原因調査は、どこ場所から火が出たのか、その場所で何が原因で火災になったのかを調査します。その調査の結果を住民にお知らせし類似火災の予防に努めています。



**水利調査**

消火活動には水が必要です。いつでも使えるように、地域の消火栓や防火水槽等が使用できるか定期的に調査します。



**救急講習**

怪我をした時や具合が悪くなった時など、その場でできる応急手当(胸骨圧迫、AED使用法、止血法)ができるように指導します。



**はしご車設定調査**

はしご車は4階建て以上の建物で発生した災害に出勤します。災害時に、はしご車が建物付近に部署し活動できるか調査します。



**総務省消防庁派遣**

災害対応力の向上と、迅速かつ適正に対応できる職員育成のために、総務省消防庁へ研修生として職員を派遣しています。派遣期間は2年です。



**県消防学校教官派遣**

本部内の選抜試験を経て2年間派遣されます。県内11消防本部から入校してくる学生に対して講義・実習を行います。様々な災害に対応できる職員を育成するため学生と共に汗を流せる仕事です。



**県防災航空隊派遣**

本部内の選抜試験を経て3年間派遣されます。年間を通じて県内各地の緊急事態に備えた出動体制を確保し、市町村の消防活動を支援し、県民を守るための防災業務に広く携わっています。



写真



写真

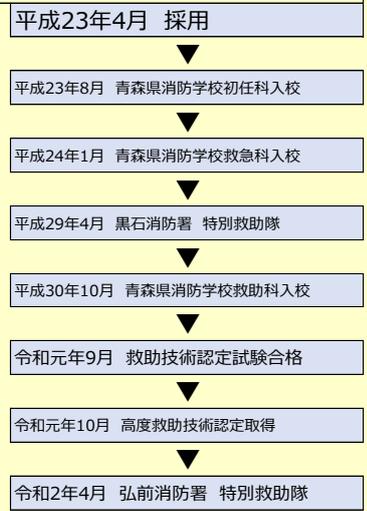


**救助隊員として**

救助隊は消防の中でも最前線でケガ人等を救出する大事な役割を担っています。一概に「救助」と言っても交通事故や山岳事故、水難事故といった多種にわたる救助事案において活動することから、強い体力はもちろんのこと、救助全般の知識を備えていなければなりません。そのため弘前消防では救助技術認定試験制度が行われています。まず、試験において救助に関する専門的な知識を有すると認められる職員に特別救助技術認定資格が与えられます。次に、山岳救助、水難救助、特殊災害救助の3分野に分かれた専門的な試験を受験することができます。それらすべての試験に合格すると高度救助技術認定資格を有することになり、救助隊員として段階的にキャリアアップすることが可能です。私自身の試験制度を活用し、高度救助技術認定資格を取得した一人でもあります。今後も一人でも多くの命を救うため体力、知識、技術の向上に努めていきたいと考えております。

**救助隊へのキャリアアップ**

写真



写真



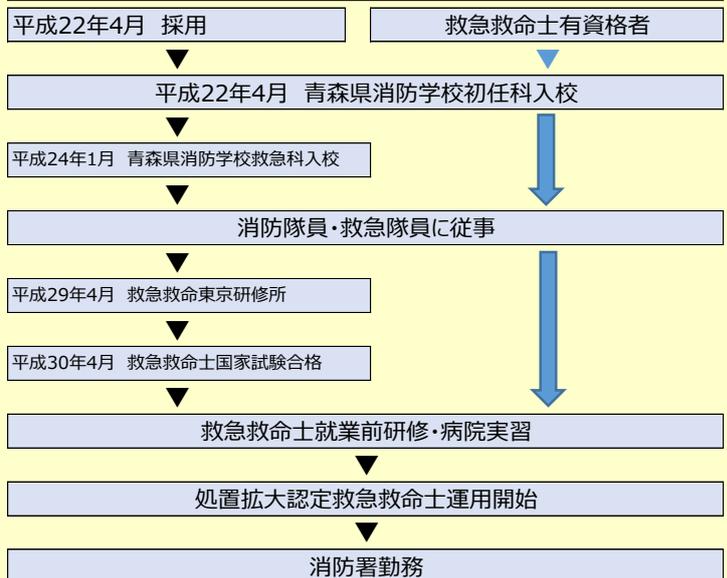
写真



**救急隊員として**

救急隊はケガをした人、病気が急変した人（傷病者と私達は呼んでいます。）を病院に搬送するのが仕事です。職員の中には救急救命士の資格取得後に採用される人もいますが、私は自ら希望し、救急救命東京研修所において約7カ月間、全国から同じ志を持った職員と寮生活を送り資格を取得しました。現在、病院研修などを経て処置拡大認定救急救命士として活動しています。この資格は傷病者に対して薬剤を投与する等の行為が医師の指示のもとに出来ます。責任も大きいですが、何より地域住民の安心した暮らしを守るための仕事であると誇りに思っています。今後の目標として現場経験を積み、将来的には救急技術指導者や指導救命士などへも積極的に挑戦したいと考えています。

**救急隊・救急救命士へのキャリアアップ**





写真



写真



予防査察員へのキャリアアップ

写真



- 平成18年4月採用（救急救命士資格取得済）
- ▼
- 平成18年4月 青森県消防学校初任科入校
- ▼
- 平成21年11月 救急救命士認定
- ▼
- 平成23年7月 予防技術検定(設備)合格
- ▼
- 平成24年3月 青森県消防学校予防査察科入校
- ▼
- 平成24年4月 予防技術検定(査察)合格
- ▼
- 平成25年4月 予防技術検定(危険物)合格
- ▼
- 平成29年8月 横浜市消防局指導課査察実務研修
- ▼
- 消防本部勤務

予防査察員として

予防課は火災の原因調査、消防法令違反の是正、消防用設備等の審査や検査、危険物規制や地域防災活動などの業務を担っています。私は予防係員として主に建築物や消防用設備等の審査・調査を担当しています。業務上、建築士や消防設備士など専門職の方とやり取りをする機会が多く、消防関係法令だけではなく他法令等及び広く専門的な知識が求められます。平成30年から、当事務組合では予防技術資格者胸章の貸与を始めました。予防技術資格者には3つの認定区分があり、全ての区分で認定されると金胸章を貸与されます。私も金胸章の貸与を受け、その職責とやりがいを感じながら業務に取り組んでいます。予防とは「予め防ぐ」こと。予防業務も「人命救助」です。重要でやりがいのある予防業務に、少しでも関心を持っていただけたら嬉しく思います。



写真



写真



機関員へのキャリアアップ

写真



- 平成20年4月採用（救急救命士資格取得済）
- ▼
- 平成20年4月 青森県消防学校初任科入校
- ▼
- 平成22年5月 救急救命士認定
- ▼
- 平成23年9月 救急車機関員認定
- ▼
- 平成25年9月 ポンプ車機関員認定
- ▼
- 平成28年9月 大型機関員認定
- ▼
- 平成28年11月 青森県消防学校警防科入校
- ▼
- 平成30年12月  
消防大学校女性活躍推進コース入校
- ▼
- 消防署勤務

大型車両機関員として

救急車や消防車を運転する人のことを運転手ではなく「機関員」と呼んでいます。機関員は運転はもちろんですが、車両の特性や積載されている資機材を熟知し、点検、整備を行います。また、災害現場の状況に合わせてポンプ操作など車両運用をする必要があり、現場活動において欠かす事のできない重要な役割を担っています。当事務組合では機関員認定資格試験があり適正・実技試験に合格することで機関員として認定されます。日々変化する災害現場に対し最善の活動ができるよう訓練に励み、出勤から署に帰るまで隊と車両の安全を守る事のできる機関員でありたいと思っています。また私は救急救命士でもあるので救急車の小隊長としても従事しています。弘前消防では、救急救命士でありながら救急隊に限らず、消防隊や救助隊、消防本部職員など様々な分野にも従事できるので、挑戦する場面を広げられるのも魅力の一つです。

# 弘前地区消防事務組合女性職員のページ



**初任科入校中**

いつでも、どこでも、どんな状況でも「できる！」消防士を目指して勉強中です。常に色々なことにチャレンジする気持ちを持って、是非私たちと一緒に女性消防士の可能性を広げていきましょう。



**消防署勤務**

救助大会では県のトップで戦えるように実力をつけ、さらには上の大会を目指して頑張ります。救助に関する様々な知識と技術を身に付け、潜水士としても日々レベルアップできるよう励みます！！



**消防署勤務**

主に救急隊として勤務しています。各出動の他にも多くの場面で職員の方々に支えられ、日々感謝の気持ちでいっぱいです。女性が必要とされる場面で活躍できるよう業務に励んでいます。



**消防署勤務**

現場では女性の運転手ということで驚かれることも多々ありますが、「女性がいて良かった」と言われることもあります。女性がいることで安心感を与えられるような活動をしていきたいです。



**消防署勤務**

主に救急業務に従事し、将来は救急救命士になりたいと思っています。家族や仲間を支えられ日々仕事ができることに感謝しながら、住民との繋がりを大切にする消防吏員を目指しています。



**消防署勤務**

主に救急隊員として従事しています。いつも元気と笑顔を！！モットーに勤務しています。バリキヤリとバリキヤリの両立を目標に、男女共に働きやすい環境づくりを目指します。



**消防署勤務（育児休業取得中）**

現在は育児休業で子育てをしています。復帰後は部分休業を利用していただき、仕事と育児の両立ができるように頑張ろうと思っています。育児の経験を今後の仕事に活かしていきたいです。



**消防署勤務（部分休業取得中）**

育児休業から復帰し、仕事と子育てをしながらとても充実した毎日を送っています。消防では、結婚、出産、子育て、女性ならではのライフイベントにも対応した制度がしっかりとっているので安心です。



**消防署勤務（育児休業取得中）**

平成29年から現在まで2人の男の子を育てるために育児休業を取得しています。丸3年経ちますが、周りの方のご理解とご協力のおかげで安心して育児に専念出来感謝しています。



**消防署勤務**

タンク車機関員として従事していますが、今は妊娠中のため出勤せず、主に事務作業を行っています。今後産休に入りますが、復帰後はたくましい母ちゃんと懐の深い消防吏員を目指します。



**消防署勤務**

主に救急隊機関員や化学車隊員として従事しています。将来の目標は化学小隊長です。そのためにも日々努力しています。



**消防署勤務**

「消防」には色々な業務があり、挑戦することで従事できる分野が広がります。自分だからできる事を弘前消防で見つけてみませんか？



**消防署勤務**

憧れの消防士になって13年目、消防隊や救急隊を経験してきました。優しく頼もしい仲間を支えられながら勤務しています。これからも向上心を忘れず、予防のスペシャリストを目指していきます！



**消防本部勤務**

主に消防同意や消防用設備等の審査・検査を担当しています。専門的な知識を修得できる部署で、やりがいと魅力を感じています。弘前消防に必要な人材になれるよう研鑽を積みたいと思います。



**消防署勤務**

現在は消防車や救急車の機関員に従事し、その他にも火災や災害が発生しないよう予防に関する業務も行っています。将来の消防士へ！働きやすい職場環境を作ってお待ちしております！！



**消防本部勤務**

現在は職員の健康管理や福利厚生等の事務を担当しています。これまで経験してきた業務を活かし、現場で活動する職員を支えることが今の私の使命です。職員に信頼される存在を目指しています。



**育児休業：**原則として子供が3歳に達するまでの間、育児休業することが可能です。

**部分休業：**育児の状況にあわせて、出勤前後最大で2時間以内の部分休業が可能です。

## 隔日勤務形態(災害出動する消防隊、救急隊、救助隊など)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
当番日	非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日

消防署・分署・通信指令課では、4週間を1サイクルとして二交替制で勤務しています。一週間の平均勤務時間は38時間45分



勤務の始まりです。当番員と非番員が各任務を確認します。



各種災害に対応できるよう車両の資機材等を使い訓練に励みます。



総務、警防救助、予防、救急係の各担当事務を行います。



指令後素早く出動し、被害を最小限にするため活動します。

## 消防学校の1日



消防士に必要な基礎知識、技術を支える知識を幅広く学びます。

消防活動訓練や機器取扱い訓練など実践的な訓練を行います。





災害に強い安全で  
安心して暮らせるまち

弘前地区消防事務組合の採用試験についての情報を弘前消防本部ホームページ[職員採用]で公開しています

# 弘前地区消防事務組合

## Hirosaki District Fire Department

採用試験に関する事は問い合わせ先：弘前地区消防事務組合消防本部人材育成課

TEL 0172-32-5109(平日の午前8時30分から午後5時まで)

TEL 0172-32-5101(代表)

〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

弘前地区消防事務組合ホームページ <http://www.hirosakifd.jp/>



2020年4月1日 発行